

・優奈ちゃんが所属していた事務所について

⇒Vtuberバブルに乗った事務所、基本的にV事業をお金としてしか考えておらず、本人の意志より人気や稼ぎを重視。

参入時期がよかったのと、最低限の経営ノウハウはあるためV事務所としてはそこそこの知名度を誇る、所属Vの人も理念はともかく給料は結構良いので葛藤しつつも所属するVが多い。

動物をモチーフにしたVtuberが売りで、優奈ちゃんは白猫、他にも柴犬やレッサーパンダなどがモチーフのVtuberがいる。

・優奈ちゃんについて

⇒優しい子に育ってほしいとの思い出名付けられた、若干自己肯定感が低く、トゲトゲした性格の自分にあっていないと思い、自分名前があまり好きじゃない。

性格:ちょっとツンとしてるけど、基本は感情豊かで優しい女の子。
ただ言葉に棘があったり、思ったことをはっきり発言してしまうことから中高などの学校生活では孤立気味だった。

一例としては友達が彼氏の相談をしてきた時に共感ではなくはっきりとアドバイスを言ってしまう、それで傷つけてしまうことがあったり
本人としては友達のためを思っただけの発言だったが、相手からすると冷たく感じ、距離を取られてしまった。

悪い子ではないが、ちょっと不器用な女の子。

とはいえ学生の頃の話なので、現在は少し丸くなっている。

Vtuber事務所に入ったのは21歳の時

最初は副業という形だったが、23の時に専業に移行。

・Vtuberになったきっかけ

⇒学生時代、親の古いPCをもらい、そこからネット文化に触れていった。

高校2年生の時にきまぐれで小さなゲーム実況を投稿したところ、わずかながら応援のコメントが届いた。

その中でも自分の欠点だと思っていたトゲトゲしく、ばっさりとした発言が面白いと褒められ、自分の弱みを受け入れてもらった気分になって、徐々にのめり込んでいった。

卒業後は事務職としては働きながら動画をちょこちょこ投稿、しかしノウハウや知識がなく、伸び悩んでいた時にVtuberのオーディション広告が目に入り、試しに応募をして現在にいたる。

・Vtuberでの姿

活動名:ホワイトキャット、愛称はホワにゃん

白猫でもふもふとしたアバターで、元気で優しい癒し系Vtuberとして活動をしている。

事務所の意向で決めたキャラクター、配信内容も雑談からの耳舐めだったりで、本人の性格や希望していた活動内容とは真逆。

だが皮肉にもぐんぐんと伸びてしまい、それに伴い生活水準や承認欲求も満たされていき、葛藤を感じつつも、徐々に活動を受け入れつつある。

ぷち用語説明

古参猫

⇒初期から推しているファンのこと。

野良猫

⇒ファンの愛称のことである。

にゃんにゃんカウントダウン

⇒初期の頃にやっていた耳舐めをしながら謎に10カウントをしてくれる。

一応筋トレ？に使ってみてねということ、用途は誤魔化しているが使用用途はほぼ一択に限られている。

あまり反響がないため途中からなくなった。

またたび赤スパ

⇒連続で赤スパを投げた時の言葉、再びとまたたびをかけている。

にゃんにゃん耳舐め

⇒配信中赤スパを投げると耳舐めをしてくれる、どんなふうにして欲しいなどのリクエストも可能。

本人は最初媚びるみたいで嫌がっていたが、お金をもらう以上中途半端な耳舐めはできないと思い猛練習した。

ファンの名前

⇒おさしみやマグロカツ、にぼしなど魚介類にまつわる名前が多い。

なぜか浸透した文化でほわニャン自身が広めたわけではない。

